

平成28年度自衛隊記念日観閲式

神奈川地本カレッジ防衛モニター 勝呂 拳人

10月23日(日)、カレッジ防衛モニターとして、自衛隊記念日の記念行事の一環として朝霞訓練場で開催された観閲式を研修した。

当日、朝霞駅に到着すると、式典会場へ向かうシャトルバスの停留場にはすでに多くの人々で溢れていた。また、この観閲式には、安倍内閣総理大臣を始め、多くの政府要人が臨席するため、朝霞訓練場周辺の道路は、警備が非常に厳重なものとなっていた。

式典会場に入ると、一体どれほどの人員や車両がこの場に集結しているのか分からなくなる程、まずその規模の大きさに圧倒された。観閲行進や観閲飛行では、陸上自衛隊の部隊を主体とする陸・海・空自の部隊のほか、防衛大学校や防衛医科大学校の学生隊、高等工科大学校の生徒隊などの勇姿を観ることができた。どの部隊も足並みが揃い一糸乱れぬ一連の動きは、とても美しく感じるとともに、行進をするどの隊員の顔からも、これまでの鍛錬による自信の表情が見てとれた。

現在も、海外での国際平和協力活動や日本の領土、領海及び領空を24時間態勢で警戒監視している隊員の方々がいる。この日本における「平和の守り神」である自衛隊員を非常に頼もしく感じたい日であった。

「入間航空祭」を研修

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所(所長 平原1陸尉)は、11月3日(木)、航空自衛隊入間基地で行われた「入間航空祭」を研修した。

当日は秋晴れの空のもと、カメラを手にした航空ファンなど約13万人の来場者で賑わった。

本研修には、幹部候補生(空飛行要員)の入隊予定者や一般曹候補生(航空要員)の最終合格発表待ちの受験者、親子で参加した空自希望の中学生などが参加し、ブルーインパルスの華麗な展示飛行に皆圧倒されていた。

特に、飛行要員として入隊予定の参加者は、T-4の現役パイロットから入隊後のキャリアやパイロットとしての心構えなどの説明を受け、パイロットへの憧れをさらに強くした様子であった。

上大岡募集案内所は、「今後も継続的なつなぎ広報により、入隊意欲の向上及び新たな志願者の獲得に努めていきたい」としている。



航空機前で記念撮影



パイロットから説明を受ける入隊予定者親子



ブルーインパルスによるバーティカルキューピッド